

エネルギーシステム研究会「第1回公開研究会」の開催案内

エネルギーシステム研究会

佐土原聡（横浜国立大学・教授）

村上公哉（芝浦工業大学・教授）

■開催趣旨

国連気候変動枠組における温暖化ガス削減目標に向けたわが国の国際的役割の遂行、わが国の電源構成の将来目標の実現と電力システム・ガスシステム改革の進展、さらには東日本大震災後のBCPやLCPの重要性が増すなどの社会動向のなかで、建築物や地区のセントラル式空調設備、地域冷暖房やスマートコミュニティシステムをはじめとするエネルギーシステムの構築・設計・運用はますます重要になっています。

しかし近年、大規模建築でも個別空調設備が普及するなかで、エネルギーシステムを設計する機会や経験が減りそれら設計技術者の育成が難しくなっています。さらにベーシックな技術理論が十分に理解されずに設計や運用がなされる事態が増えるなど、環境設備業界において技術の継承と育成が憂いられる状況になって来ています。

そこで本研究会は、それらの設計・運用などに係わる技術者の方々の情報交流や技術講習などを通じて、エネルギーシステムの将来像、設計手法、解析手法、改善手法などの技術の育成と普及を図り低炭素社会づくりに貢献することを目的に、各分野の有志により発足したボランティア団体です。

この度、研究会の発足を記念し、第一回公開研究会を開催することになりました。本研究会がエネルギーシステムに係わる技術者の皆様の有意義かつ気楽な情報交流や講習などの場になればと思っておりますので、是非ご参加の程をよろしくお願い申し上げます。

■主催：エネルギーシステム研究会（別添参照） 後援：一般社団法人都市環境エネルギー協会

■日時：2015年6月26（金）14：30～17：00（14時開場）

■場所：中央区立環境情報センター研修室（<http://eic-chuo.jp/access/>）

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6階

地下鉄東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結

地下鉄東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩2分

地下鉄都営浅草線「宝町駅」A4番出口より徒歩2分

■定員70名（先着順）

■参加費（無料）

■プログラム

1. 研究会設立趣旨の説明：村上公哉（研究会代表）

2. 講演一部

特別講演（30分）

「次世代空調システムに向けての取り組み」正田良次（研究会特別顧問）

基調講演（30分）

「都市とエネルギーシステム」：佐土原聡（研究会代表）

—休憩—

3. 講演二部「システム設計・運用等における現状課題と将来展望」

① 設計と運転実態：田中良彦（研究会副代表）

② 省エネルギー技術の今後の課題：鈴木規安（研究会幹事）

③ 放射空調の今後の課題：橘 雅哉（研究会幹事）

④ シミュレーションの重要性とEnepro21の特徴：小川彰彦（研究会副代表）

⑤ 企業内教育の課題：助飛羅力（研究会副代表）

4. 研究会の今後の活動スケジュールの説明

■懇親会（17：00～ 希望者会費制 3,000 円、当日会場にて徴収）

■申し込み方法

メール（e-mail：energy.system.society@gmail.com）にて、
以下の書式に応じて「氏名」「所属」「連絡先電話番号」「懇親会の参加有無」を記載しご送付ください。
申し込み締め切：6月24日（水）（ただし、定員になり次第締め切）

氏名：〇〇〇〇

所属：株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

連絡先電話番号：03-8457-〇〇〇〇

懇親会：参加 or 不参加

■問い合わせ先

芝浦工業大学 工学部建築工学科 村上公哉研究室 担当：田中、矢野 TEL：03-5859-8457

以上

会場案内図



エネルギーシステム研究会の概要

(1) 活動目的

本研究会は、建築物や地区のセントラル式空調設備、地域冷暖房やスマートコミュニティシステムをはじめとするエネルギーシステムの構築・設計・運用に資する技術の継承や技術者の育成を通じて、低炭素社会づくりに貢献して行くことを目的としています。そしてその活動趣旨に賛同する各分野の有志によりボランティア団体として発足しました。

(2) 組織構成（五十音順）

代 表：佐土原聡（横浜国立大学・教授）、村上公哉（芝浦工業大学・教授）

副代表：小川彰彦（E.I.エンジニアリング）、助飛羅力（関電エネルギーソリューション）、
田中良彦（東西化学産業）、吉田聡（横浜国立大学・准教授）

特別顧問：正田良次（高砂熱学工業）、顧問：渡辺健一郎（元芝浦工業大学・特任教授）

幹 事：川上孝（三菱重工業）、鈴木規安（省エネルギーセンター）、橘雅哉（清水建設）

メンバー：有志および賛同者

(3) 活動概要

広くエネルギーシステムに関係している技術者及び学生を対象に次のような情報交流や技術講習会などの活動を行います。

- ① 学生や実務者を対象としたエネルギーシステムの設計技術者の育成
- ② 次世代のエネルギーシステムに係わる技術や情報交流の場の提供
- ③ エネルギーシステムの設計・運用・管理に関するテキストの作成
- ④ その他、研究会の活動目的に関連すること

(4) 技術講習会の概要

経験豊かな技術者によるエネルギーシステム設計の基礎的な技術理論と具体的な技術について講習します。また本講習会の特徴として、一部の技術理論や技術についてはシステムシミュレーションを通じて理解を深める予定です。さらに単に技術のみだけではなく、有識者を交えエネルギーシステムの将来展望などを自由に議論できるサロンのような場を提供します。

技術講習の例

- ① 計負荷と実績負荷の相異、流量負荷と設計、システム最適温度設計の方法
- ② 熱源機器に対する台数分割理論の構築、インバータ冷凍機の使い方
- ③ 熱源システムの運用チューニング、リニューアルの手法とその効果について
- ④ コージェネレーションシステムの設計課題とその解決について
- ⑤ 蓄熱システムの設計課題とその解決について
- ⑥ 再生可能エネルギー、太陽光発電及び太陽熱利用ジェネリンクの計算手法について
- ⑦ 多様な設備でのシミュレーションの応用について
- ⑧ その他